



Toshio HOSOKAWA



©Yoshinori Kurosawa
Kentaro KAWASE



Noriko MIURA



Takashi TOKUNAGA



©Itaru Hirama
Miwako HANDA



©松蔭浩之
Shinya HASHIMOTO

広島交響楽団
Hiroshima Symphony Orchestra



細川俊夫が注目する作曲家が「ヒロシマ」をテーマにした作品を世界初演

次世代の作曲家たち

【音楽監督・お話】 細川俊夫 【委嘱作曲家】 徳永崇、三浦則子 【指揮】 川瀬賢太郎

【演奏】 半田美和子(ソプラノ)、橋本晋哉(チューバ)、広島交響楽団

【プログラム】 徳永崇作曲/広島時間【委嘱・世界初演】
細川俊夫作曲/旅VIII—チューバとアンサンブルのための【広島初演】
三浦則子作曲/ヒロシマを渡る風【委嘱・世界初演】
G.リゲティ作曲/マカーブルの秘密【広島初演】
(オペラ「ル・グランマカーブル」より ゲボボの3つのアリア)

平成27年 **6月25日** 19時開演(18時30分開場)

【会場】 アステールプラザ 広島市中区 加古町4-17 オーケストラ等練習場

【入場料】 一般 2,500円(当日3,000円) / 学生 1,500円(当日2,000円)

※全席自由・消費税込み ※就学前のお子様のご同伴、ご入場はご遠慮ください。※前売券が売り切れた場合は当日券の販売はいたしません。

主催/ひろしまオペラ・音楽推進委員会、広島市、(公財)広島市文化財団 アステールプラザ、中国新聞社

助成/平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業、公益財団法人野村財団

後援/広島市教育委員会、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅービー-76.6MHz





次世代の

細川俊夫が注目する作曲家が「ヒロシマ」をテーマにした作品を世界初演

作曲家たちⅣ

日本を代表する現代音楽作曲家 細川俊夫がお届けするHIROSHIMA HAPPY NEW EAR(広島の新しい耳)シリーズ。

第19回目は被爆70周年という節目の年であり、細川俊夫が注目する二人の作曲家に「ヒロシマ」をテーマにした作品を委嘱し、川瀬賢太郎の指揮、広島交響楽団(室内オーケストラ編成)の演奏で世界初演します。

また現代の優れた作品を併せて紹介。実力派チューバ奏者の橋本晋哉をソリストに迎えて細川俊夫作曲「旅Ⅷ」、超技巧派ソプラノの半田美和子によるリゲティ作曲「マカプルの秘密」をお届けします。

広島から世界へ発信するHIROSHIMA HAPPY NEW EAR シリーズ。広島が歩んできた道に想いを馳せ新しい音楽で未来へと繋げます。



【音楽監督・お話し】細川 俊夫
Toshio HOSOKAWA

1955年広島生まれ。ベルリン芸術大学でユン・イサンに、フライブルク音楽大学でクラウス・フーパーに作曲を師事。日本を代表する作曲家として、欧米の主要なオーケストラ、音楽祭、歌劇場等からの委嘱を受け、国際的に活躍。近年では、エクサンプロヴァンス音楽祭委嘱オペラ「班女」、ザルツブルク音楽祭委嘱作品「循環する海」「嘆き」、ロシュ委嘱ルツェルン音楽祭初演作品「夢を織る」、モネ劇場委嘱オペラ「松風」、ベルリン・フィル、バービカン・センター、コンセルトヘボウ共同委嘱作品「ホルン協奏曲―開花の時―」などが、大野和士、ワレリー・ゲルギエフ、フランク・ウェルザー＝メスト、サイモン・ラトル、準・メルクルら一流の指揮者により初演。現在、小編成から大編成まで多くの作品が国内外で演奏され続けている。これまでに東京交響楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、西ドイツ放送局合唱団、ネーデルラント・フィルハーモニー管弦楽団のコンポーザー・イン・レジデンスを歴任。2001年にベルリン芸術アカデミー会員、2012年にバイエルン芸術アカデミー会員に選出。2012年秋、紫綬褒章受章。現在、武生国際音楽祭音楽監督、東京音楽大学およびリゼバト音楽大学客員教授。



【指揮】川瀬 賢太郎
Kentaro KAWASE

1984年東京生まれ。2007年東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲指揮専攻(指揮)を卒業。これまでに、広上淳一をはじめ各氏に師事。2006年10月東京国際音楽コンクール(指揮)2位(最高位)入賞。以来、読売日本交響楽団など各地のオーケストラから次々に招きを受ける。2012年1月、細川俊夫作曲平田オリザ演出「班女」広島公演にてオペラデビュー。2015年1月、2月には細川俊夫作曲 ルーカ・ヴェジッチェティ演出「リアの物語」広島公演を指揮、いずれも好評を博す。2012年10月ユナイテッド・インストゥルメンツ・オーヴ・ルンリンと細川俊夫作曲「大鷲」オランダ初演の大役を果たす。2011年4月名古屋フィルハーモニー交響楽団 指揮者に就任。2014年4月より神奈川フィルハーモニー管弦楽団 常任指揮者に就任。三重県および市親善大使。八王子ユース交響アンサンブル音楽監督。

委嘱作曲家



徳永 崇 Takashi TOKUNAGA

1973年広島生まれ。広島大学大学院教育学研究科修了の後、東京藝術大学音楽学部別科作曲専修修了。作曲を、早川正昭、久留智之、野田暉行の各氏に師事。2004年、武生国際作曲ワークショップに招待作曲家として参加し、同年フランスのロワイヨモン作曲セミナーに武生との交換作曲家として参加。ISCM World Music Days入選(2002/香港、2014/プロツワ)。武生作曲賞受賞(2005)。在籍する作曲家グループ「クロノイ・プロトイ」の第5回作品展が、サントリー芸術財団第9回「佐治敏三賞」受賞(2009年度)、テグ国際現代音楽祭招待作曲家(2006、2011/韓国)。作品は国内をはじめ、欧州・アジア各地で演奏されている。作曲家グループ「PATH」メンバー。「秋吉台の夏」現代音楽セミナー&フェスティバル講師(2010〜)。現在、広島大学大学院教育学研究科准教授。



三浦 則子 Noriko MIURA

東京生まれ。桐朋学園大学作曲理論学卒業後、フランスに留学。パリ・エコール・ノルマル及びパリ国立高等音楽院にて作曲を学ぶ。これまでに作曲を、末吉保雄、細川俊夫、平義久、ポール・メファンに師事する。1993年第5回秋吉台作曲賞受賞。1999年第68回日本音楽コンクール作曲部門第1位。併せて安田賞を受賞。これまでダラム・シュタット国際夏期講習会、MITOフェスティバル、ミラノ・ムジカ音楽祭、カーン音楽祭、モナコの春音楽祭、ザールブリュッケン現代音楽祭、ウィラムジカ(マインツ)、ベルリン高等研究所、武生国際音楽祭等で作品を発表してきた。主要作品:弦楽四重奏曲第1番「耳をすます」、サクソフ、ヴァイオリンとハーブのための「アントヤ」、フルト、クラリネット、ヴァイオリンとチェロのための「悲しみのように、ひそやかに」ほか。

演奏



〈ソプラノ〉
半田 美和子
Miwako HANDA

桐朋学園大学、同大研究科修了。二期会オペラスタジオ修了後に最優秀賞及び川崎静子賞、第4回藤沢オペラコンクール第1位及び福永賞受賞。その後ベルリンにて研鑽を積む。「フィガロの結婚」ズザンナでデビュー以来、「ファルススタッフ」ナンネット、「ラ・ボエーム」ムゼッタ、「ヘンゼルとグレーテル」グレーテル、「こもり」アデーレ等に出演。細川俊夫「Hanjo」花子の日本初演は細川氏より「最もイメージに近い花子」と評され、東京・トリノ・ミラノ公演で多くの賞賛を浴びた。ソリストとしてベルティニ、プロムシュテット、インバル、ホーネック、メルクル、カリニャーニら著名指揮者と共演を重ね、最近ではベルク「ルル組曲」、細川俊夫「星のない夜」の日本初演が、精緻な技術と高い音楽性で評価された。幅広いコンサートレパートリーを誇り、ドイツリットやフランス歌曲なども含め多彩な活動を展開している日本を代表するソプラノ。



〈チューバ〉
橋本 晋哉
Shinya HASHIMOTO

1971年生まれ。チューバ、セルバン奏者。エリザベト音楽大学博士後期課程(満期退学)を経てフランス国立パリ高等音楽院、同音楽院第3課程器楽科及び室内楽科を修了。在仏中より主に現代音楽のジャンルでの活動を開始し、「秋吉台の夏」現代音楽セミナー、サントリー芸術財団サマールフェスティバル2008及び2010、コンポーザム2009、東京オペラシティ「B→C」、NHK-FM「名曲リサイタル」、「リサイタル・ノヴァ」などにソリストとして出演。国内外の初演を数多く手掛けている。2002年アヴァン・セヌ(フランス)第1位、第5回現代音楽演奏コンクール(東京)第2位、2003年ガウデアムス国際現代音楽演奏コンクール(オランダ)特別賞受賞。他方古楽器「セルバン」を用いての古楽のジャンルでの活動も多い。洗足学園音楽大学講師。「低音デュオ」「東京現音計画(2014年佐治敏三賞受賞)」のユニットで活動。



広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra

国際平和文化都市「広島」を本拠地とする、中・四国唯一の常設プロオーケストラ広響は、1998年に日本を代表する指揮者である秋山和慶が首席指揮者・ミュージックアドバイザーに就任し、2004年から音楽監督・常任指揮者を務めている。海外公演として、ウィーン、プラハ、フランス(ルーアン、ル・アーブル)、ロシア(サンクトペテルブルク)、韓国(ソウル、プサン、テグ)などで公演し好評を博す。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバー・シリーズをはじめ、依頼公演や学校コンサート、巡回コンサートなど年間約140回を超える演奏活動を行っている。これまでに「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞(2013年度)」を受賞。公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp>

入場料

一般 2,500円(当日3,000円)
学生 1,500円(当日2,000円)
※全席自由・消費税込み
※就学前のお子様のご同伴、ご入場はご遠慮ください。
※前売券が売り切れた場合は当日券の販売はいたしません。

チケット販売所

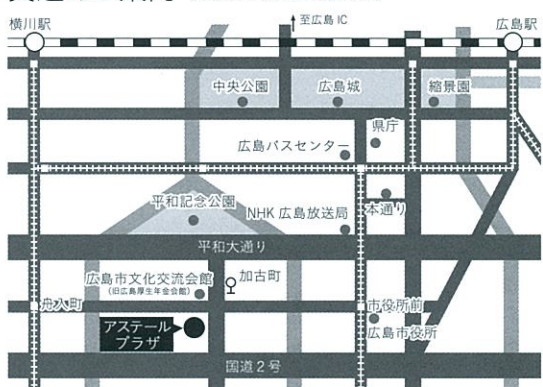
- エディオン広島本店……………082-247-5111
- 福屋広島駅前店……………082-568-3942
- 小夜曲(セレナード)……………082-246-7727
- 中国新聞社読者広報部……………082-236-2455
- アステールプラザ……………082-244-8000
- 電子チケットぴあ……………0570-02-9999(Pコード:257-525)
- ローソンチケット……………0570-084-006(Lコード:67383)
- オンライン販売……………<http://h-culture.jp/opera/ticket/>

お問い合わせ

ひろしまオペラ・音楽推進委員会
〒730-0812 広島市中区加古町4-17 TEL 082-244-8000
<http://h-culture.jp/opera/classic/>

交通のご案内

※自家用車の乗場はご遠慮ください。



- アクセス(JR広島駅から)
- 市内電車「広島港(紙屋町経由)」行きで、「市役所前」下車 徒歩8分、「江波」行きで、「舟入町」下車 徒歩5分
 - 市内バス 広島バス「吉島営業所」行き、または「吉島病院」行きで、「加古町」下車 徒歩1分
 - タクシー 約15分